

2022年度 未就業調査集計結果

目的:長野県ナースセンターに登録している看護職員の実態を把握し、未就業看護職の就業を促進する。

対象: eナースセンターの求職登録者のうち長野県内への就業を希望し、求職活動を行っている者331名

期間:2022年8月1日から8月31日

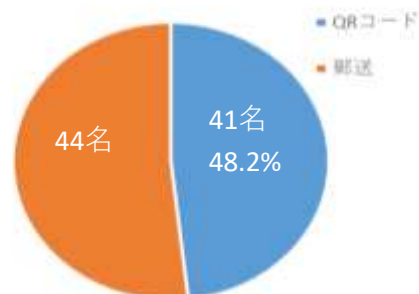
方法:対象者に自記式質問調査票を郵送配付、郵送による回答とQRコードによる回答を集計した

回収状況

回収手段	人数	回収割合	総数割合
QRコード	41	48.2%	12.4%
郵送	44	51.8%	13.3%
合計	85	100.0%	25.7%

331名に依頼したが、回収は85名で回収率は25.7%であった。
回収手段による差はほとんどないが、郵送の方がやや多かった。

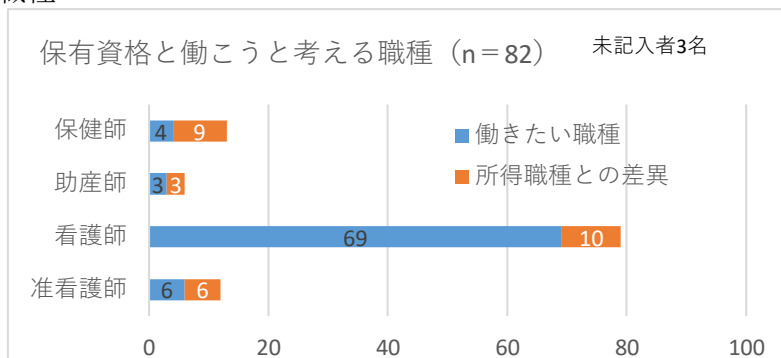
回答手段別回答者数 (n=85)



結果

1. 保有している資格と就業を希望している職種

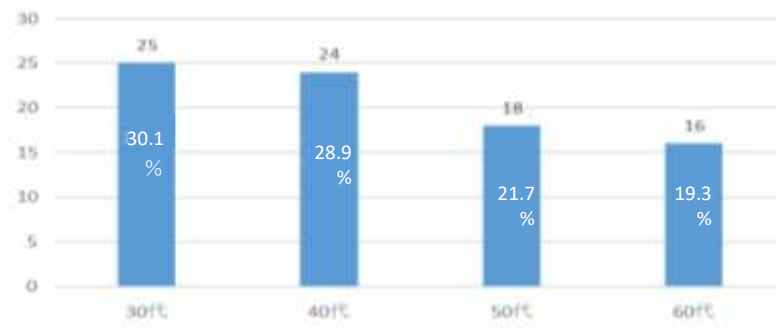
職種	取得している資格(複数回答)	就業希望職種(希望職種1つ)
保健師	13	4
助産師	6	3
看護師	79	69
准看護師	12	6
未記入	0	3
合計	110	85



保有している資格と就業を希望している職種との差異が最も多いのは、保健師であった。保健師は13名中 保健師資格での就業を希望している方は4名で保健師資格取得者の30.8%であった。助産師は6名中3名で助産師資格取得者の50%であった。最も差異が少なかったのは、看護職で、79名中69名 87.2%であった。准看護師12名は、看護師資格を持つ6名は看護師としての就業を希望し、准看護師資格のみの6名が准看護師での就業を希望した。

2. 年齢

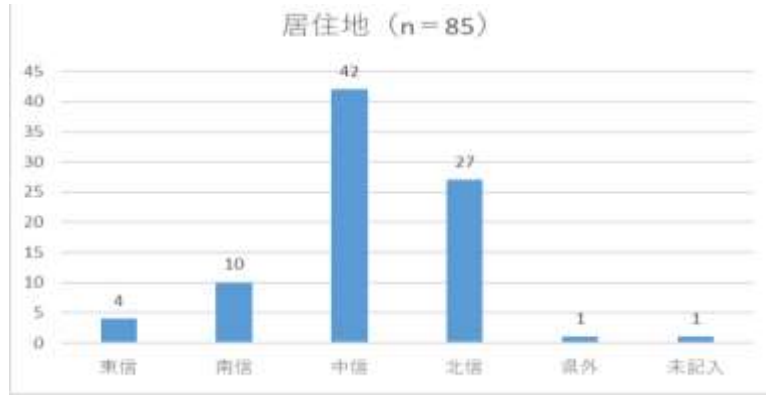
年代	人数	割合 (n=83)
30代	25	30.1%
40代	24	28.9%
50代	18	21.7%
60代	16	19.3%
未記入	2	
総計	85	100%



年齢は、平均年齢47.5歳で 標準偏差11.1であった。具体的な年齢は30歳から68歳までであり、20代の方はいなかった。

3.所在地

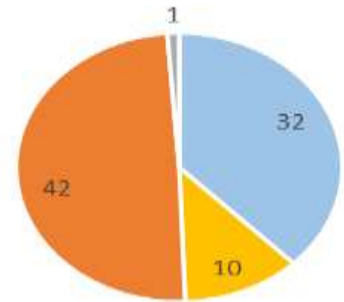
	人数	割合
東信	4	4.7%
南信	10	11.8%
中信	42	49.4%
北信	27	31.8%
県外	1	1.2%
未記入	1	1.2%
合計	85	100.0%



所在地は、中信地区が最も多く42名(49.4%)であり、次いで北信地区27名(31.8%)、南信地区、東信地区の順であった。

4.現在の就業状況

	人数	割合
■ 看護職員として就業している	32	37.6%
■ 看護職員以外で就業している	10	11.8%
■ 就業していない	42	49.4%
■ 未記入	1	1.2%
総計	85	100.0%



看護職として就業している方は、32名(37.6%)であった。
看護職以外での就業と就業していないを合わせると52名(61.2%)であった。

5.看護職としての経験年数は

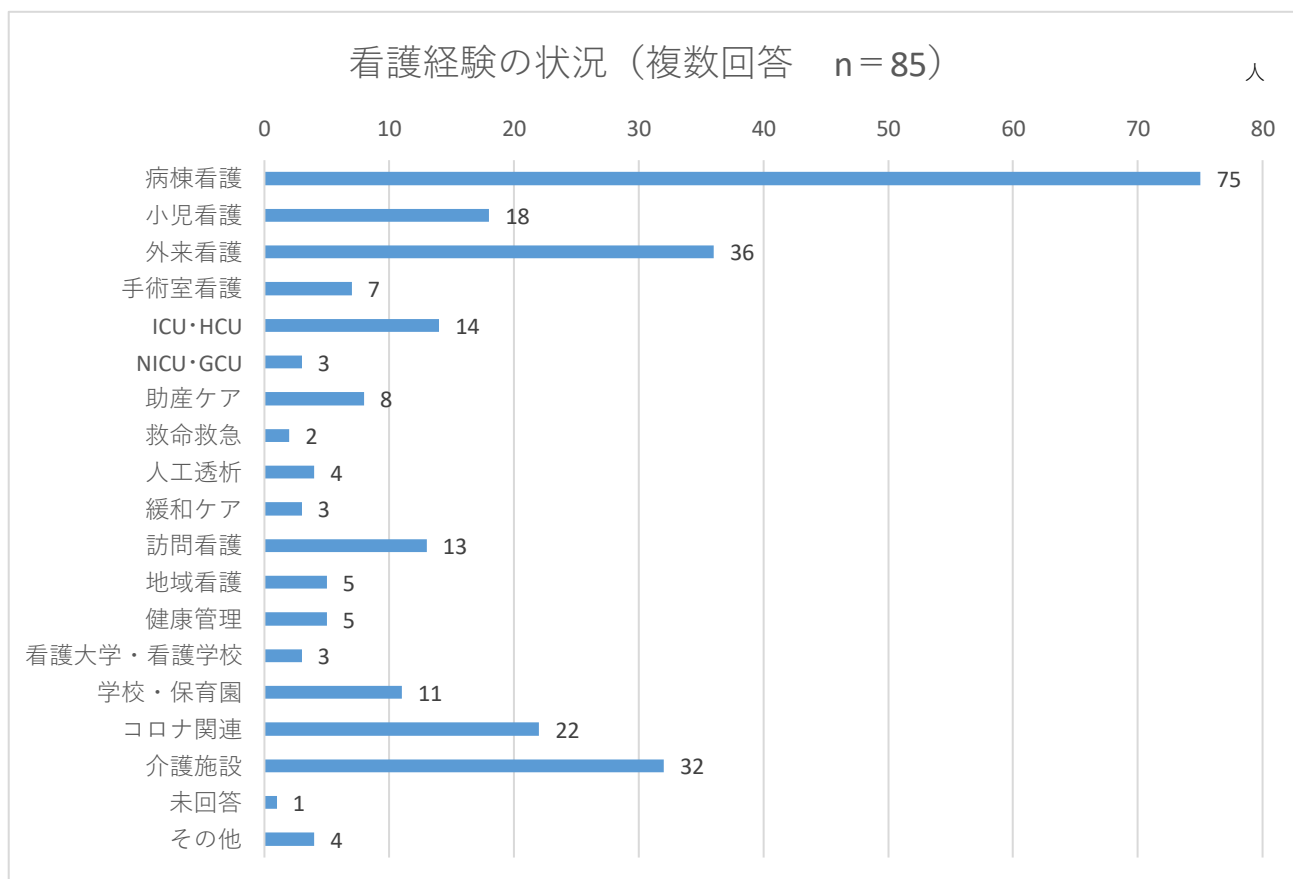
	平均勤続年数	標準偏差	中央値
30代	8.7	3.7	8.8
40代	11.3	7.1	10.0
50代	17.7	7.1	17.5
60代	37.3	5.0	38.0
合計	17.1	12.0	13.3

年齢が上がるにつれて経験年数が長くなっている。しかし、変動幅を見ると30代と60代に比べ、40代・50代の幅が大きい傾向にある。

6.看護職としての看護経験がある看護領域(複数回答 n=85)

経験のある看護内容	人数	割合	経験のある看護内容	人数	割合
病棟看護	75	88.2%	学校・保育園	11	12.9%
小児看護	18	21.2%	コロナ関連	22	25.9%
外来看護	36	42.4%	介護施設	32	37.6%
手術室看護	7	8.2%	未回答	1	1.2%
ICU・HCU	14	16.5%	その他	4	4.7%
NICU・GCU	3	3.5%	その他の内容		
助産ケア	8	9.4%	相談室		
救命救急	2	2.4%	内視鏡		
人工透析	4	4.7%	健診時の問診		
緩和ケア	3	3.5%	学生指導者実習		
訪問看護	13	15.3%			
地域看護	5	5.9%			
健康管理	5	5.9%			
看護大学・看護学校	3	3.5%			

経験のある看護内容について複数回答で尋ねたところは、病棟看護が75名(88.2%)と最も多く、次いで外来看護が36名(42.4%)、介護施設32名(37.6%)であった。コロナ関連については、4番目に多く22名(25.9%)であった。

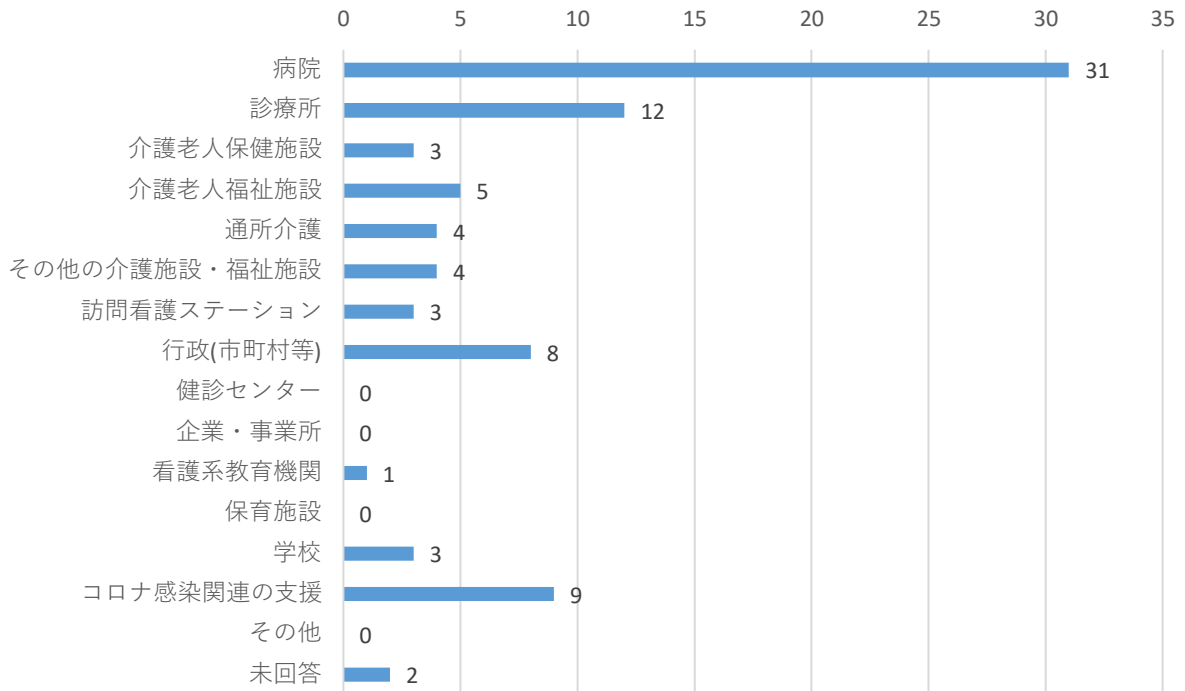


7-①. 現在の就業先または最後に就業していた施設

	人数	割合
病院	31	36.5%
診療所	12	14.1%
介護老人保健施設	3	3.5%
介護老人福祉施設	5	5.9%
通所介護	4	4.7%
その他の介護施設・福祉施設	4	4.7%
訪問看護ステーション	3	3.5%
行政(市町村等)	8	9.4%
健診センター	0	0.0%
企業・事業所	0	0.0%
看護系教育機関	1	1.2%
保育施設	0	0.0%
学校	3	3.5%
コロナ感染関連の支援	9	10.6%
その他	0	0.0%
未回答	2	2.4%
合計	85	100.0%

現在の就業先または最後に就業していた施設については、病院が最も多く31名(36.5%)であった。次いで診療所12名(14.1%)、コロナ感染関連の支援9名(10.6%)であった。

現在の就業先または最後に就業していた施設 (n=85)

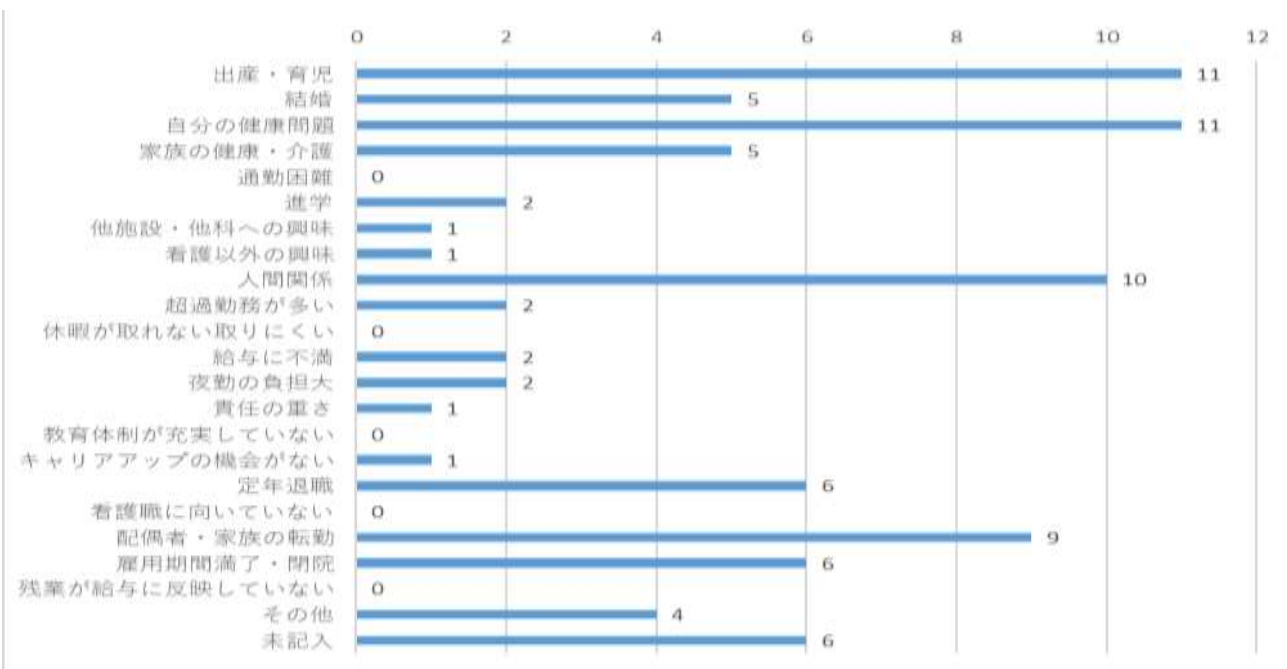


7-②.最終の就業施設への勤務経験年数 年代別(年齢未記入者と未回答者を除く n=78)

	平均年数	標準偏差	中央値
30代	4.3	4.9	2.05
40代	2.4	3.7	1.05
50代	4.5	5.4	2.15
60代	14.2	13.2	12.25

直近の就業施設への経験年数を年代別にみると、40代が最も少なく2.4年で、次いで30代が4.3年、50代が4.5年、60代が14.2年という結果であった。標準偏差も、40代が最も少なく、60代が最も多いという結果となった。

8-①.退職理由又は転職を考えた理由 (n=85)



退職理由	人数	割合
出産・育児	11	12.9%
結婚	5	5.9%
自分の健康問題	11	12.9%
家族の健康・介護	5	5.9%
通勤困難	0	0.0%
進学	2	2.4%
他施設・他科への興味	1	1.2%
看護以外の興味	1	1.2%
人間関係	10	11.8%
超過勤務が多い	2	2.4%
休暇が取れない取りにくい	0	0.0%
給与に不満	2	2.4%
夜勤の負担大	2	2.4%
責任の重さ	1	1.2%
教育体制が充実していない	0	0.0%
キャリアアップの機会がない	1	1.2%
定年退職	6	7.1%
看護職に向いていない	0	0.0%
配偶者・家族の転勤	9	10.6%
雇用期間満了・閉院	6	7.1%
残業が給与に反映していない	0	0.0%
未記入	6	7.1%
その他	4	4.7%
合計	85	100.0%

退職を考えた理由で最も多いのは、出産・育児と自分の健康問題が各11名(12.91%)と多く、次いで人間関係が10名(11.8%)、次いで配偶者や家族の転勤が各9名(10.6%)であった。定年退職や雇用期間の満了または閉院も各6名(7.1%)であった。通勤困難や休暇が取れない取りにくい、教育体制が充実していない、看護職に向いていない、残業が給与に反映していないを選択した方はなかった。

その他の内容

妊活：2名 など

8-②.人間関係の具体的な理由(複数回答n=10)

仕事を教えてもらえない	2
勤務希望が出せず勤務が不公平	1
勤務時休憩が取りづらい	1
仕事を押し付けられた	2
仕事量が多くなっても手伝ってもらえない	1
多職種との連携が取れない	1
急に休みが必要な時にとれない	2
自分の意見が言えない	2
意見が反映されない	2
未記入	2
その他	5

人間関係の具体的な内容については、理由が偏ることがなく、いろいろな理由があった。

9.未就業期間

未就業の42名中2名が未回答のため40名の結果

平均未就業期間(年)	4.35
標準偏差	4.71

最小値 1か月

最大値 17年

未就業期間は、平均が4.35年であった。最小値1か月から最大値17年で標準偏差4.71であった。

10-①.再就業の希望

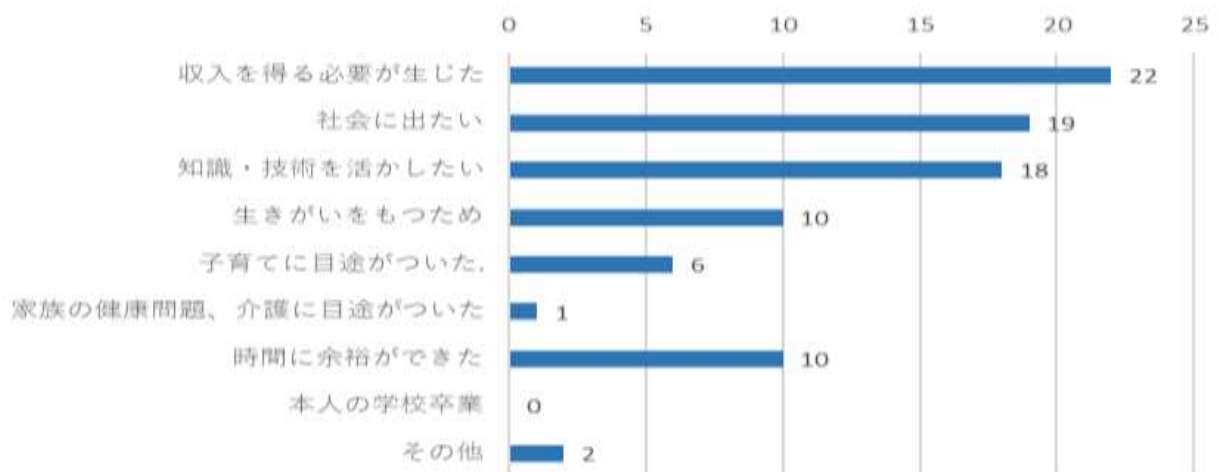
	希望せず	希望する	合計
看護職以外での就業者	3	7	10
未就業者	8	34	42
合計	11	41	52

看護職以外で就業中の10人中7人が再就業を希望している。未就業者42名中34名(81.0%)が看護職としての就業を希望していた。

10-②. 就業を希望する理由(看護職以外で就業中及び未就業中の方 複数回答 n=41)

	人数	割合
収入を得る必要が生じた	22	53.7%
社会に出たい	19	46.3%
知識・技術を活かしたい	18	43.9%
生きがいをもつため	10	24.4%
子育てに目途がついた.	6	14.6%
家族の健康問題、介護に目途がついた	1	2.4%
時間に余裕ができた	10	24.4%
本人の学校卒業	0	0.0%
その他	1	2.4%

再就業を希望する理由としては、収入を得る必要が生じたが最も多く、22名(53.7%)であった。次いで社会に出たい19名(46.3%)、知識技術を活かしたい18名(43.9%)、生きがいをもつため・時間に余裕が出たが各10名(24.4%)であった。



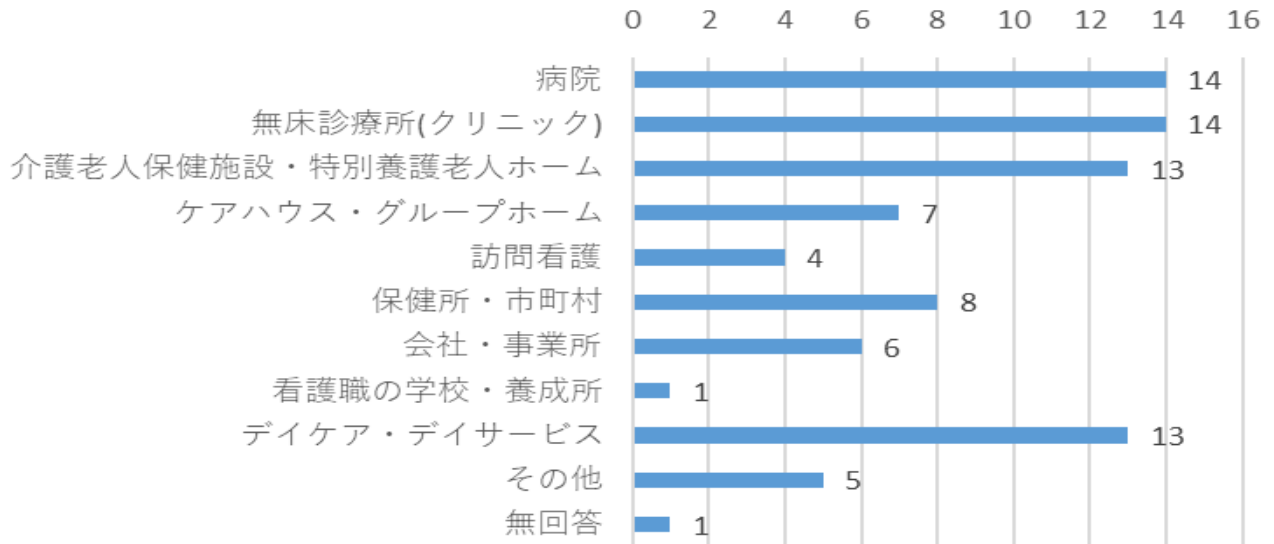
11.再就業の希望時期

既に再就業が決まっている	1
直ぐにでも再就業したい	9
1年以内に再就業したい	13
数年以内に再就業したい	7
学校卒業後に再就業したい	0
未定	11
合計	41



再就業の時期については、1年以内に考えているという回答が最も多く、13名(32.5%)であった。次いで未定の方が11名(26.8%)、すぐにでも就業したいが9名(22.0%)という順であった。

12.希望する就業先(既に決まっている1名を除く)複数回答・n=40

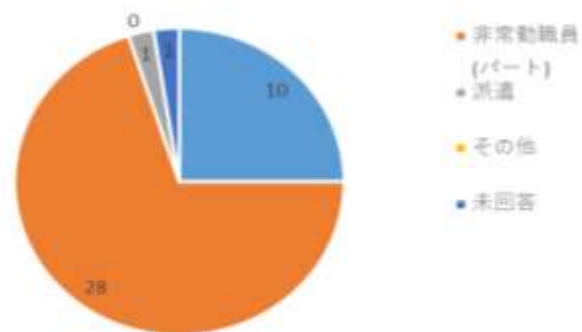


希望する就業先は、病院・無床診療所(クリニック)が14名(35%)で次いで介護老人保健施設・特別養護老人ホームとデイケア・デイサービスが13名(32.5%)であった。

13.希望する雇用形態

正規職員	10
非常勤職員(パート)	28
派遣	1
その他	0
未回答	1
合計	40

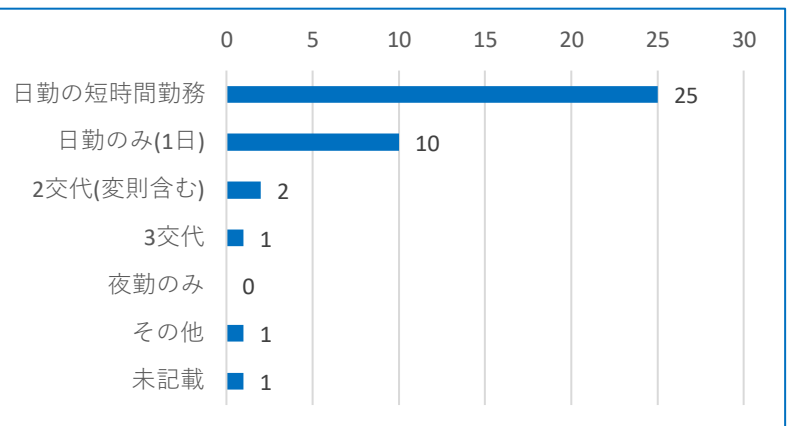
希望する雇用形態 (n = 40)



希望する勤務形態は、非常勤職員(パート)が28名(70%)と最も多く、次いで正規職員10名(25%)であった。

14.希望する勤務形態(n=40)

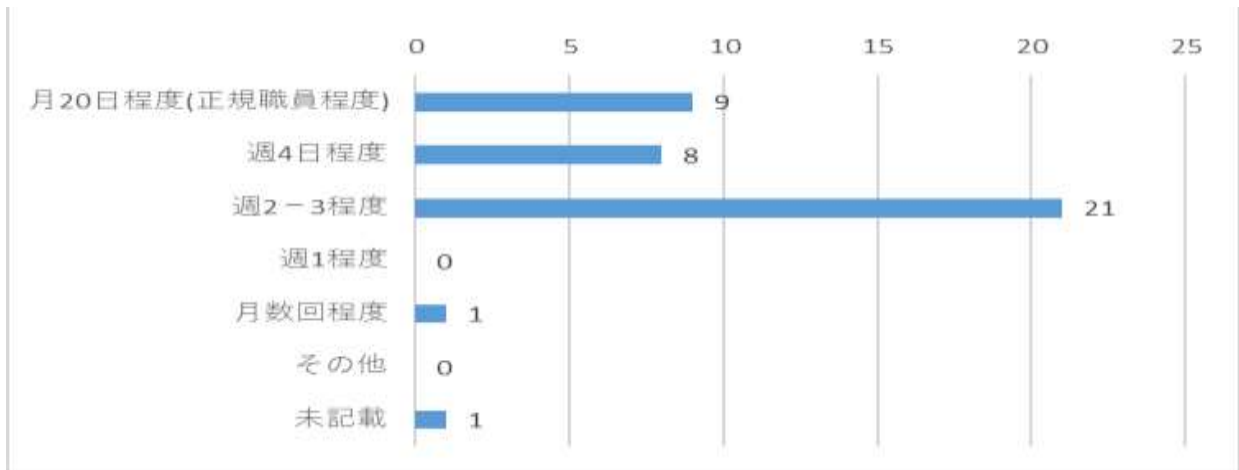
	人数
日勤の短時間勤務	25
日勤のみ(1日)	10
2交代(変則含む)	2
3交代	1
夜勤のみ	0
その他	1
未記載	1
合計	40



その他:好きな時

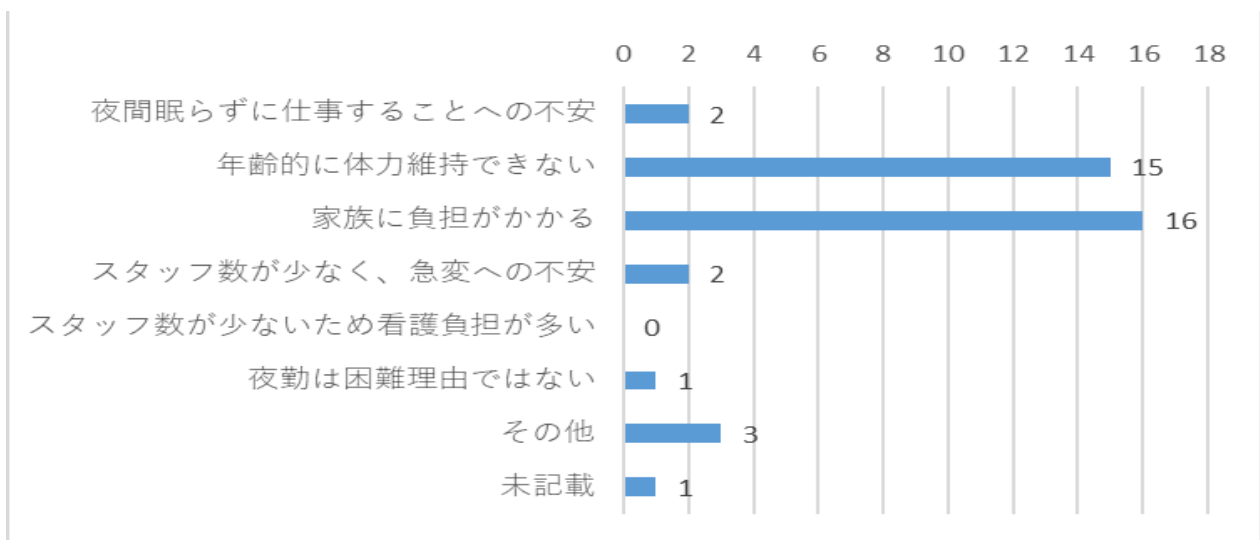
希望する勤務形態について最も多かったのは、日勤の短時間勤務が25名(62.5%)で、次いで日勤のみ(1日)が10名(25%)であった。夜勤ができる方は3名(7.5%)であった。

15.希望する就業頻度(n=40)



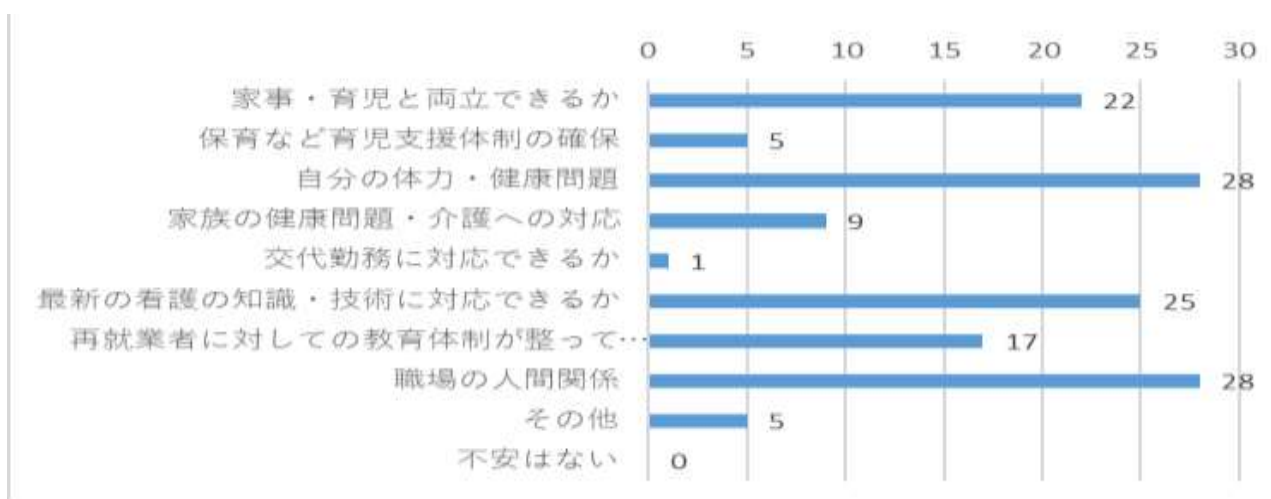
希望する就業頻度は、週2-3回程度が21名(52.5%)と最も多く、次いで月20日程度(正規職員程度)が9名(22.5%)、週4日程度が8名(20%)であった。

16.夜勤が困難な理由(n=40)



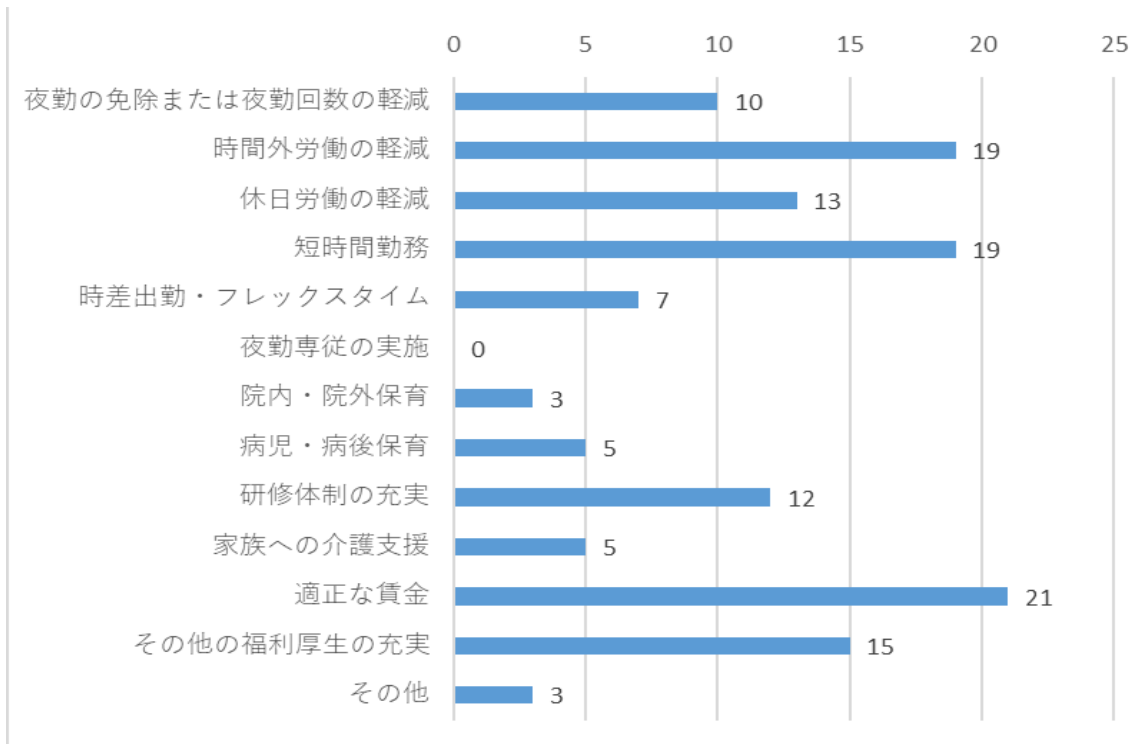
夜勤のできない理由として最も多いのは、家族に負担がかかるが16名(40%)、次いで年齢的に体力維持できないが15名(37.5%)であった。

17.再就業に際しての不安(複数回答 n=40)



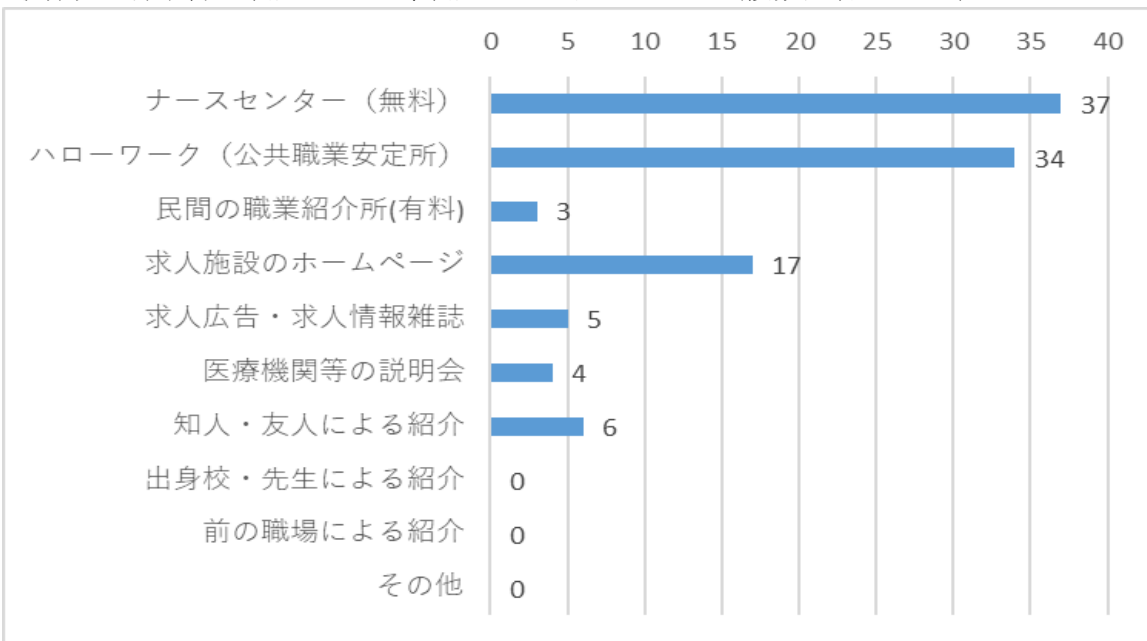
再就業に際しての不安については、自分の体力・健康問題と職場の人間関係が最も多く28名(70%)を占め、次いで最新の看護の知識・技術に対応できるかが25名(62.5%)であった。

18.再就業する上で重視する支援体制や制度(複数回答・n=40)



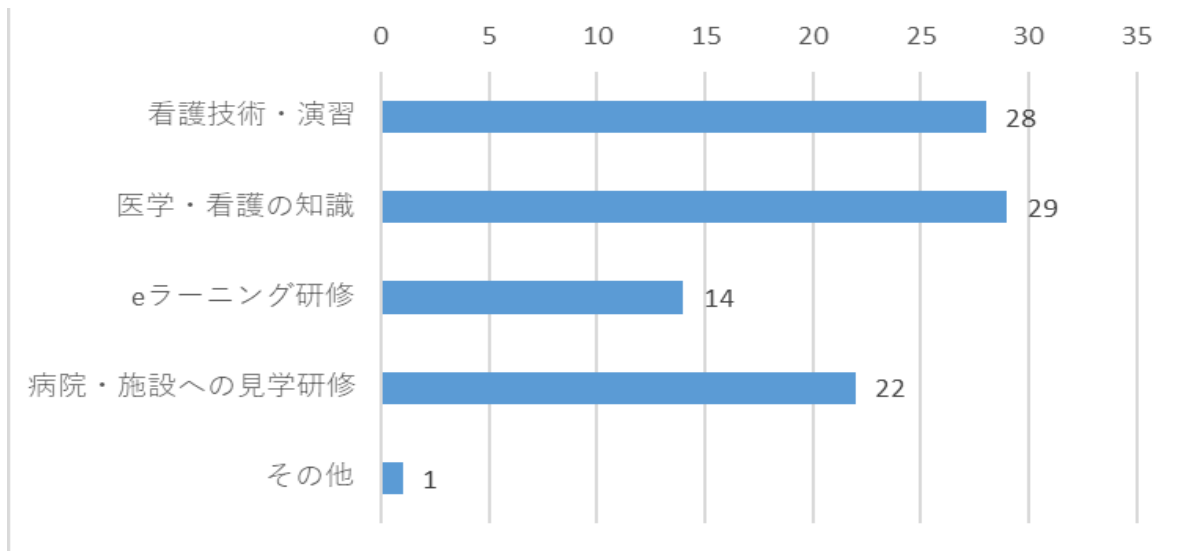
再就業する上で重視する支援体制や制度について最も多かったのは、適正な賃金で21名(52.5%)であった。次に時間外労働の軽減と短時間勤務が19名(47.5%)となった。夜勤専従の実施と回答した者はなかった。

19.就業先を探す際に利用している、利用したい手段について(複数回答 n=40)



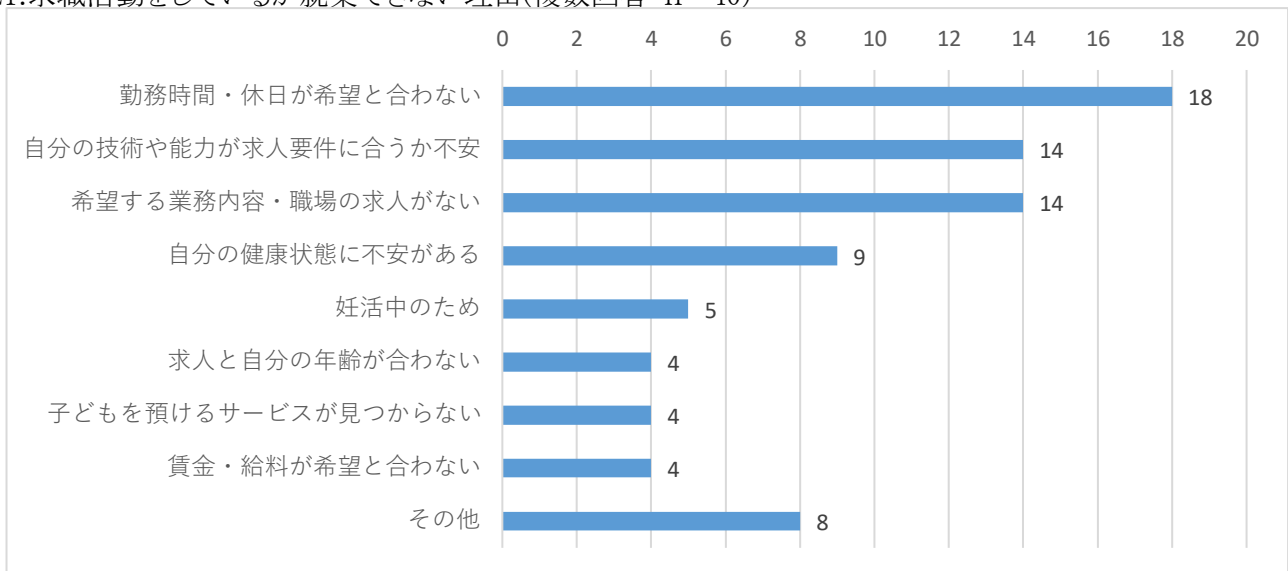
就業先を探す際に利用したい手段については、ナースセンターが最も多く37名(92.5%)であった。次にハローワークが34名(85%)、求人施設のホームページが17名(42.5%)となった。

20.再就業にあたり、受講したい研修について(複数回答・n=40)



再就業にあたり、受講したい研修については、医学・看護の知識が最も多く29名(72.5%)で、次いで看護技術・演習が28名(70%)、病院・施設への見学研修が21名(52.5%)となった。

21.求職活動をしているが就業できない理由(複数回答・n=40)

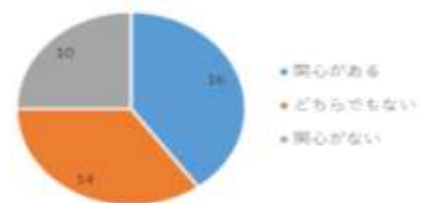


その他の内容

法に則った運営がされているか
 育児に専念したいため
 家族の介護
 研修を受けてから就業したい など
 求職活動をしているが就業できない理由について最も多かったのは、勤務時間・休日が希望と合わないで18名(45%)で、次いで自分の技術や能力が求人要件に合うかが不安と希望する業務内容・職場の求人がないが14名(35%)であった。

22-①.訪問看護や介護施設等への勤務への関心(n=40)

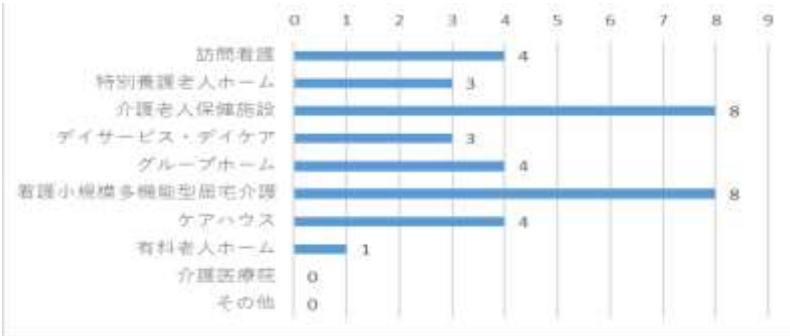
関心がある	16
どちらでもない	14
関心がない	10
合計	40



関心があると回答した方が最も多かった。16名(40%) 次いでどちらでもないが14名(35%)、関心がない10名(25%)であった。

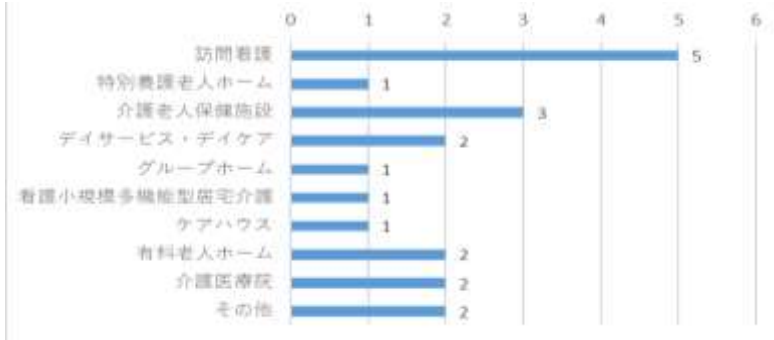
22-②. 関心がある方の希望施設(複数回答 n=16)

訪問看護	4
特別養護老人ホーム	3
介護老人保健施設	8
デイサービス・デイケア	3
グループホーム	4
看護小規模多機能型居宅介護	8
ケアハウス	4
有料老人ホーム	1
介護医療院	0
その他	0



22-③ どちらでもない方の希望施設(複数回答 n=14)

訪問看護	5
特別養護老人ホーム	1
介護老人保健施設	3
デイサービス・デイケア	2
グループホーム	1
看護小規模多機能型居宅介護	1
ケアハウス	1
有料老人ホーム	2
介護医療院	2
その他	2



関心のある方の希望施設は、介護老人保健施設と小規模多機能型居宅介護が8名と最も多く、次いで訪問看護・グループホーム・ケアハウスであった。

どちらでもない方の希望施設は、訪問看護が5名と最も多く、次いで介護老人保健施設であった。